

校長室通信 6/5 22号

気を引き締めなおして

よく学校現場では「6月の危機」という言葉を耳にします。それは、運動会や中学校では中総体が終わり、目前の目標がなくなって、「いじめ」「不登校」「授業妨害」「交通事故」等が増える傾向にあるからです。学校にはたくさんの「危機」が潜んでいます。けがを伴うような事故、ケンカなどのトラブル、アレルギー対応、体罰や暴言、虐待やネグレクトなどなど、1つ対応を間違えれば大きな問題になることがたくさんです。ハインリッヒの法則では、1つの重大事件の陰には29の軽微な事案があり、それ以前に300のヒヤリハットがあるといえます。先生方と改めて危機管理の「さ・し・す・せ・そ」を確認しました。

さ・・・最悪を想定し、し・・・慎重に、す・・・素早く、せ・・・誠意をもって、そ・・・組織で対応

6/4の全校集会では全校児童に次のような話をしました。

しなければならぬこと

- ・^{まも}ルールを守ること
- ・^{しゅく だい}宿題や^{じ しゅ}自主^{かく しゅ}学習
- ・^{かく しゅ}学習の^{じゅん び}準備

してはいけないこと

いじめ

- ・^{ぼう りょく}暴力(言葉の^{こと ぼう}暴力・^{ぼう りょく}プライベートゾーン)
- ・^{ひと}人の^{さく ぴん}作品に^{らく が}落書き(キャンバなども)
- ・こそこそばなし



しなければならぬことは

したくなくともしなければならぬ

してはいけないことは

したくてもしてはいけない